

有効期間満了：2013年6月26日

案件名	「第59回長野県縦断駅伝競走」運営のカーボン・オフセット実施
申請者	信濃毎日新聞株式会社
案件の概要	<p>長野県縦断駅伝競走は、長野県下を南北に縦断する21区間・216.7kmを県内15地区別のチームにより競う駅伝大会である。</p> <p>この第59回大会の運営部分を算定範囲として、J-VER 20tの償却を予定している。</p> <p>地域の名物駅伝「県縦（けんじゅう）」として県内に広く定着している本大会では、これまでも持ち手部分が竹素材の応援小旗を使用するなどの環境対策を講じてきたが、本年度の大会では新しい環境行動としてカーボン・オフセットを実施するとともに、その概念やCO2削減への取り組みに関する広報活動を行なうことにより、県民の認知向上を図り、低炭素社会の実現を促す。</p>
認証区分・タイミング	I-2（会議・イベント開催オフセット） オフセット済み認証
カーボン・オフセットの主体（帰属先）	申請者
算定範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長野縦断駅伝大会案内に必要な紙類の印刷 （ポスターA2×1000枚、パンフレットA4×321,200枚、マニュアルA4×10,400枚） ・ 応援小旗の制作に伴う紙類の印刷（B4×28,000枚） ・ オフィスのユーティリティ＜電力・上水道＞：駅伝業務開始～終了月 ・ 車輦による移動 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 運営用車輦90台：駅伝総区間距離216.7kmの往復移動分 ✓ 先導車輦＜電気自動車＞1台：総区間距離216.7kmの往復移動分 ✓ 先導車輦＜白バイ49台1日目/24台、2日目/25台＞：区間距離（1日目/119.1km、2日目/97.6km）の往復移動分 ✓ スタッフ・選手の区間移動用バス9台（初日/5台、2日目/4台） ✓ 中継点審判、安全協会、警察官の移動用車輦 <p>＜すべて普通乗用車・ガソリンとして推定＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中継点審判250台： 自宅から担当の中継地点までの往復移動距離10km分 ・ 安全協会700台： 自宅から担当の地点までの往復移動距離5km分 ・ 警察官350台： 各署から配置点までの往復移動距離20km分
オフセット量 / 算定排出量	20.0t / 18.042t

有効期間満了：2013年6月26日

クレジット種別	オフセット・クレジット (J-VER)
プロジェクト名	長野県木質ペレットストーブの使用による J-VER プロジェクト
無効化日	平成 22 年 9 月 16 日
情報公開	<p>【カーボン・オフセットの仕組みの説明】</p> <p>カーボン・オフセットとは、自らの温室効果ガス排出量を認識し、これを削減する努力を行なうとともに、削減が困難な部分の排出量について、他の場所で実現した温室効果ガスの排出削減・吸収量等（クレジット）の購入や排出削減・吸収を実現する活動を実施することにより、その排出量の全部または一部を相殺することをいう。</p> <p>【地球温暖化対策の喫緊性の説明】</p> <p>地球温暖化は、日本も含めた少数の先進工業国を中心に排出される CO₂ などの温室効果ガスが排出されることによって引き起こされるとされ、その影響は世界全体に及ぶ。すでに地球温暖化の兆候は世界各地で顕在化しており、野生生物の絶滅の危機の増大、台風やハリケーン、干ばつ、熱波などの異常気象の増加、水不足に起因する貧困や飢餓、さらには水や資源、食糧などをめぐる紛争の深刻化などが現実のものとなりつつある。</p> <p>温暖化防止には、あらゆる立場の一人ひとりが取り組みを始めることが重要である。</p> <p>【カーボン・オフセット商品等提供主体の削減努力】</p> <p>申請主体である信濃毎日新聞は、こまめに電気を消したり、オフィス内の温度調整を行なったりしています。</p> <p>【消費者（参加者）の削減努力の促進に関する情報】</p> <p>申請代行事業者である森のライフスタイル研究所は、こまめに電気を消したり、オフィス内の温度調節を行なったりしています。</p> <p>【オフセットの対象とする活動、期間、人数、距離等】</p> <p><対象とする活動の内容></p> <ul style="list-style-type: none">・長野縦断駅伝大会案内に必要な紙類の印刷<ul style="list-style-type: none">➢ (ポスターA2×1000 枚、パンフレット A4×321, 200 枚、マニュアル A4×10, 400 枚)・応援小旗の制作に伴う紙類の印刷 (B4×28, 000 枚)・オフィスのユーティリティ<電力・上水道>：駅伝業務開始～終了月・車輻による移動

有効期間満了：2013年6月26日

- 運管用車輛 90 台：駅伝総区間距離 216.7km の往復移動分
 - 先導車輛<電気自動車>1 台：総区間距離 216.7km の往復移動分
 - 先導車輛<白バイ 49 台 1 日目/24 台、2 日目/25 台>：区間距離 (1 日目/119.1km、2 日目/97.6km) の往復移動分
 - スタッフ・選手の区間移動用バス 9 台 (初日/5 台、2 日目/4 台)：
 - 中継点審判、安全協会、警察官の移動用車輛<すべて普通乗用車・ガソリンとして推定>
 - ・ 中継点審判 250 台：
自宅から担当の中継地点までの往復移動距離 10km 分
 - ・ 安全協会 700 台：
自宅から担当の地点までの往復移動距離 5km 分
 - ・ 警察官 350 台：各署から配置点までの往復移動距離 20km 分
- <対象となる活動の開催日>
平成 22 年 11 月 20 日～11 月 21 日
- <対象とする活動の距離>
長野県下を南北に縦断する 21 区間 216.7km

【対象とする活動に伴う排出量とオフセット量】

排出量 18.1 t

オフセット量 20.0 t

【算定の根拠としたガイドライン名または算定式等】

「カーボン・オフセットの対象活動から生じる GHG 排出量の算定方法ガイドライン (ver. 1.1)」、昨年の実績値 (駅伝業務開始月～終了月) 等を使用。

算定式 (活動量 × 排出係数) は以下のとおり

[大会案内に必要な紙類・応援小旗制作に伴う印刷] (レベル 1)

プリンタの稼働時間[週] *2 × TEC 消費電力[kWh] *2 × 排出係数[t-CO2/kWh] *1

[オフィスのユーティリティ] (レベル 2)

排出係数[t-CO2/kWh] *1 × 稼働時間[月] *3 × 電力使用量[kWh/月] *3

水道排出係数[t-CO2/m3] *2 × 稼働時間[月] *3 × 上水使用量[m3/月] *3

[車両による移動] (レベル 1)

(ガソリン車)

総走行距離[km] *4 ÷ 燃費[km/l] *2 × 排出係数[t-CO2/l] *2

(ディーゼル車)

総走行距離[km] *4 ÷ 燃費[km/l] *2 × 排出係数[t-CO2/l] *6

(電気自動車)

総走行距離 *4 ÷ 電費[km/kWh] *5 × 排出係数[t-CO2/kWh] *1

【活動量・排出係数とその根拠等】

- *1: 環境省 算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧 (平成 22 年 3 月) 電気事業者別排出係数 (平成 21 年度排出量算定用) (中部電力・調整後)
- *2: 「カーボン・オフセットの対象活動から生じる GHG 排出量の算定方法ガイドライン (ver. 1.1)」を参照 プリンタの稼働時間は、印刷枚数から推定。1[週間]未満は1に繰上げ
- *3: 昨年の実績値 (駅伝業務開始月～終了月)
- *4: 本年の駅伝大会走行距離より推定
- *5: 白バイは、ホンダの同じ排気量の車種 (ホンダ CB1300) の 60km/h 定地走行燃費 25.5km/l より、駅伝先導時の平均時速 15km/h で走行した際の燃費を保守的 (60%) に見積。電気自動車 (日産リーフ) は、日産の公表値 (走行距離 160km と電池容量 24kWh) より、電費 6.67km/kWh を算出し、駅伝先導時の平均時速 15km/h で走行した際の燃費を保守的 (50%) に見積。
- *6: 環境省 算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧 (平成 22 年 3 月) 燃料の使用に関する排出係数 (軽油)

【クレジットの種類】

オフセット・クレジット (J-VER)

【クレジットの認証プログラム (制度) 名】

オフセット・クレジット (J-VER) 制度

【クレジットの調達状況】

契約日：2010年8月20日

調達日：2010年8月26日

【クレジットの無効化方法】

J-VER 登録簿の無効化口座へ移転

【クレジット調達期限・通知方法】

ウェブサイトにてご報告

(<http://www.green-carbon.jp/59nagano-ekiden>)

【プロジェクト名】

長野県木質ペレットストーブの使用による J-VER プロジェクト

【プロジェクト実施国・実施地域】

日本国・長野県

【プロジェクトタイプ】

削減系

【プロジェクト概要】

長野県産の木質ペレットをストーブ燃料として利用し化石燃料を代替することにより二酸化炭素の排出削減を図り、それにより創出されるクレジットへの企業からの資金提供を木質ペレットの利用者に還元する仕組み

有効期間満了：2013年6月26日

	<p>みを構築し、未利用の間伐材等の森林資源の有効活用と地球温暖化防止策に資する森林整備を推進するとともに、民生部門での地球温暖化対策への理解を深めることを目的とする。</p> <p>【プロジェクト期間】 2008年4月1日～2009年12月31日</p> <p>【プロジェクトの排出削減・吸収量】 排出削減量 217 トン（発行済）</p> <p>【商品・サービス（チケット等）当たりの販売価格】 無し</p> <p>【消費者のオフセットに関する価格負担の有無】 無し</p> <p>【ウェブサイトリンク先】 http://www.green-carbon.jp/59nagano-ekiden</p> <p>I-1、I-2、IIのみ</p> <p>【カーボン・オフセットの主体】 申請者 100%</p> <p>【その他】 「第59回長野県縦断駅伝競走」運営のカーボン・オフセット実施については、信濃毎日新聞社の責任のもとで行なうものである。</p>
--	---